

平成 25 年度

事業計画書

公益事業① 文化資料館、博物館、美術館等の設置・運営事業

はじめに

柏崎市民とキーン先生の出会いは、2007年7月に発生した中越沖地震に遡ります。震災からの復興に立ち向かうなか、キーン先生のご提案により「柏崎」を角書きに持つ古浄瑠璃「越後国・柏崎 弘知法印御伝記」が復活上演されました。その公演は柏崎市民に夢を与え、明日への希望の灯となりました。その後、柏崎市制70周年にあたる2010年には、キーン先生と早稲田大学名誉教授鳥越文蔵先生による「日本文化を語る・二つの国から」と題する記念講演会も開催される等、柏崎市民とキーン先生の交流が続いております。

2011年3月11日に発生した東日本大震災の後、キーン先生は日本永住と日本国籍の取得を決意されました。それは、先生が世界に向けて日本文化や日本文学を紹介、発信の場であったニューヨークの書齋が存在しなくなることを意味することとなります。この我々日本人にとってもかけがえのない場所を後世にも伝え遺したいという思いから、この事業の展開がスタートいたしました。

目的 平成25年9月、新潟県柏崎市に開館予定の「ドナルド・キーン・センター柏崎」の運営とその企画事業において、ドナルド・キーン先生の執筆・翻訳・教鞭活動に関する資料の収集・展示を通じ、日本文化や日本文学のすばらしさを再発見する場を提供する。

この展示運営は、国内外の日本文学や日本文化の研究者はもとより広く一般に公開し、多くの方々に来場いただけるよう、様々な企画を計画してまいります。

(1) ドナルド・キーン・センター柏崎の常設展示の運営

・目的

英訳『源氏物語』に感動して以来、70年を超える歳月、日本文学や日本文化を一筋に研究し、海外に伝えてきたドナルド・キーン先生は、世界に日本の文学や文化を伝える発信者であり、ニューヨークの書齋は、世界に日本の文学や文化を伝える発信基地でした。そのキーン先生の今日までの歩みや仕事（日本文学研究、翻訳、文化評論などの執筆、海外で日本文学を研究する後進を育てた教育者）を常設展示し、来館者に日本文学をなによりも愛するドナルド・キーンという人間を知ってもらうと同時に、日本文学、日本文化の面白さ、素晴らしさを発見、認識してもらいたい。さらに、ニューヨークに存在したキーン先生の書齋を復元・展示して、90歳で日本人となったキーン先生の限らない日本への愛を感じてもらい、日本と日本人を見つめ直す場としてほしい。これが常設展示の役割であり、目的です。

・内容

日本文学や日本文化を世界の檜舞台に上らせたキーン先生の今日までの歩みを、その多彩な文学研究の世界を、愛してやまない日本への思いを、それぞれ下記で展示します。

書齋の再現ホール：キーン先生の「日本文学研究」の世界や「日本への思い」を感じとって頂きたい。

メイン展示ホール：キーン先生の「人となり」「仕事」を知る、学ぶ。
展示テーマに沿ったキーン先生の代表作品や関連書籍等を展示いたします。

大型映像ホール：キーン先生の「人となり」「仕事」「日本への思い」に納得、感動。肖像権や著作権をクリアした先生出演のテレビ番組やオリジナル映像を放映いたします。

検索コーナー：もっと知りたい、調べたい。先生が語るオーラルヒストリーオリジナル映像36本をインストールし、自由に閲覧していただけます。

以上、5つの展示の手法により、来館者の皆様に内容への理解を深めていただきます。

(2) 特別企画展の計画

日本文学研究者、翻訳家、文芸評論家、作家、教育者として今なお、その道を決心に歩み続けるドナルド・キーン先生。その人生や仕事は、常設展示ではとてもすべてを紹介しきれぬものではありません。そうした観点から、キーン先生の多彩な文学研究の世界を、企画・特別展示として紹介し、日本の文学や文化の良さを忘れてしまったとされる現代の日本人に、日本文学の魅力を、日本文化の素晴らしさを思い起こさせる一助になればと考えています。

・内容

① 2013年9月21日～2013年12月25日

開館記念特別展として、二つのテーマの特別展示を行います。

「川端康成からドナルド・キーンへ宛てた書簡、その後」

川端康成がキーン先生に石草流生け花の創始者、岩田清道女史を紹介した書簡が、その後、何を生み出し、どのような世界を創出したかを紹介します。

「日本文学の世界への広がり」

世界に広がる日本文学研究の実績、さらには、日本国内でも広がりを見せるドナルド・キーンの日本文学研究の世界を紹介します。

② 2014年3月10日～

ドナルド・キーン「日本文学を読む」直筆原稿が語る現代日本文学の世界と作家の素顔。

1971年11月から1977年6月までの66回にわたって雑誌「波」(新潮社)に掲載されたキーン先生の文学論の直筆原稿をその雑誌とともに一同に展示します。直筆原稿を通して、先生の文学評論の世界と当時の作家の素顔、当時の日本文学の世界に思いを巡らせてほしいと考えています。

(3) 講演会開催計画

「ドナルド・キーン・センター柏崎」から発信される日本文化や日本文学の素晴らしさ、おもしろさをより具体的に多くの皆様にお伝えし、理解して頂き、教養として身につけて頂く為に、キーン先生ご本人や先生とつながりのある講師を定期的に招き、日本文化や日本文学及び日本の古典芸能等に関する講演会を開催いたします。

・内容

「ドナルド・キーン・センター柏崎」開館記念講演会

「ドナルド・キーン・センター柏崎」の開館を記念しての基調講演会を開催いたします。

開催日時：2013年9月29日(日) 13:30開演

場 所：柏崎市文化会館アルフォーレ

(4) 定期セミナーの開催計画

「ドナルド・キーン・センター柏崎」は、その目的に、地域の文化活動の拠点として、日本国内外に文化活動を発信していくという方針を定めています。

その目的達成のための活動のひとつとして先生が永年研究されてきた日本文学等に関するセミナーを定期的開催し、文化意識の向上とともに、ドナルド・キーン・センター柏崎の永続性を高めてまいります。

・内容

① 音楽を通してドナルド・キーンを知るセミナー (一般対象)

「キーン先生のプレイング・リストによるオペラ講座」

音楽評論家でもあるキーン先生が収集された膨大な所蔵レコードの中から先生が特に愛してやまないオペラについて、3回にわたって一緒に鑑賞し、その素晴らしさを味わう企画です。

公益事業② 教育及び文化・芸術・体育等に関する振興活動

目的 学力優秀でありながら経済的事由等により修学が困難な学生及び文化・芸術・体育等への振興に関する助成・協賛事業を行います。

その事業を通じて、次世代を担うグローバルな人材の育成や公衆の教養の向上、心身の健全な発展に寄与してまいります。

この目的を達成するために、下記3つの事業を計画しています。

(1) 学資金の貸与による奨学事業(公募)

学力優秀でありながら経済的な事由等により修学が困難な学生に対する奨学援護。

平成 25 年度奨学対象者 大学生

平成 25 年度奨学者人数 20 人

貸与金 月額 20,000 円

*平成 25 年度の募集対象地区は新潟県となっておりますが、平成 26 年度より山形県も対象地区として公益性を高めてまいります。

*詳細が決定次第、当財団HPへの掲載及び関係施設への文書送付にてご連絡いたします。

(2) 文化・芸能・スポーツ振興に対する助成

次世代への継承や次世代の育成及び公衆の心と身体健康増進に役立つ文化芸能・スポーツイベントへの助成を行います。

*詳細が決定次第、当財団HPにご連絡いたします。

収益事業 公益目的事業に関連する物品販売

当財団の公益事業における「ドナルド・キーン・センター柏崎」にて、センター専用のオリジナルグッズを制作し、センター内にて販売します。

・販売商品

当センターオリジナルデザイン付きグッズ、図録の販売

当センターの専用ロゴ（キーン先生直筆）を印刷した商品の販売